

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

平成 27 年 9 月 17 日

計画の名称	2 次世代に引き継ぐ三田の下水道に向けて（防災・安全）		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	三田市
計画の目標			

下水道施設の計画的な整備・再構築により、市民の暮らしを守る。

計画の成果目標（定量的指標）

- ①下水道による都市浸水対策達成率を70.3%（H22）から76.6%（H26）に増加させる。
- ②管渠における長寿命化計画策定率を0%（H22）から50%（H26）に増加させる。
- ③重要な管渠の耐震化対策実施率を0%（H24）から15.0%（H26）に増加させる。
- ④都市部における雨水貯留タンク設置戸数を年40戸増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)
------------------	-----------------	-----------------

備考

① 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済面積(ha) / 浸水対策を実施すべき面積(ha) (1843.0ha)	70.3%	76.5%	76.6%
② 管渠における長寿命化計画策定率 策定済長寿命化計画数(箇所) / 策定必要長寿命化計画数(箇所) (2箇所)	0.0%	0.0%	50.0%
③ 重要な管渠の耐震化対策実施率 耐震化実施管渠延長 / 耐震化が必要な管渠延長(L=1902.33m)	-	0.0%	15.0%
④ 都市部における雨水貯留タンク設置戸数率 雨水貯留タンク設置戸数 / 雨水貯留タンク設置目標戸数(N=40戸)	-	-	100.0%

全体事業費	合計 (A+B+C)	437百万円	A	412百万円	B	0百万円	C	25百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	5.7%
-------	---------------	--------	---	--------	---	------	---	-------	---------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
課内審査会議	H27年9月
	公表の方法
	市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-2	下水道	一般	三田市	直接	-	雨水	新設	浸水対策事業	L=428m □800×800	三田市						78	
1-A1-3	下水道	一般	三田市	直接	-	汚水	改築	管渠長寿命化計画	計画策定(管渠、マンホール等)	三田市						62	
1-A1-4	下水道	一般	三田市	直接	-	汚水	改築	管渠長寿命化対策	対策工事(管渠、マンホール等)	三田市						0	
1-A1-5	下水道	一般	三田市	直接	-	汚水	改築	耐震化事業(管渠)	L=126m φ300mm他	三田市						16	
1-A1-6	下水道	一般	三田市	直接	-	雨水	改築	耐震化事業(管渠)	L=157m □2200×2200mm他	三田市						172	
1-A1-7	下水道	一般	三田市	間接	-	雨水	新設	新世代下水道支援事業	雨水貯留タンク設置補助	三田市						1	
合計																329	

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C1-1	下水道	一般	三田市	直接	—	改築	管渠長寿命化計画	計画策定（管渠、マンホールポンプ）	三田市						1	
1-C1-2	下水道	一般	三田市	直接	—	改築	管渠長寿命化対策	対策工事（管渠、マンホールポンプ）	三田市						0	
合計													1			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
1-C1-1	基幹事業である主要な管渠と枝線管渠の長寿命化計画を一体的に策定することで効率化を図り、老朽化に伴う管路施設の破損による道路陥没や汚水流出事故を防ぎ、快適な都市活動を確保する。															
1-C1-2	基幹事業である主要な管渠と枝線管渠の長寿命化対策を一体的に行うことにより、老朽化に伴う管路施設の破損による道路陥没や汚水流出事故を防ぎ、快適な都市活動を確保する。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

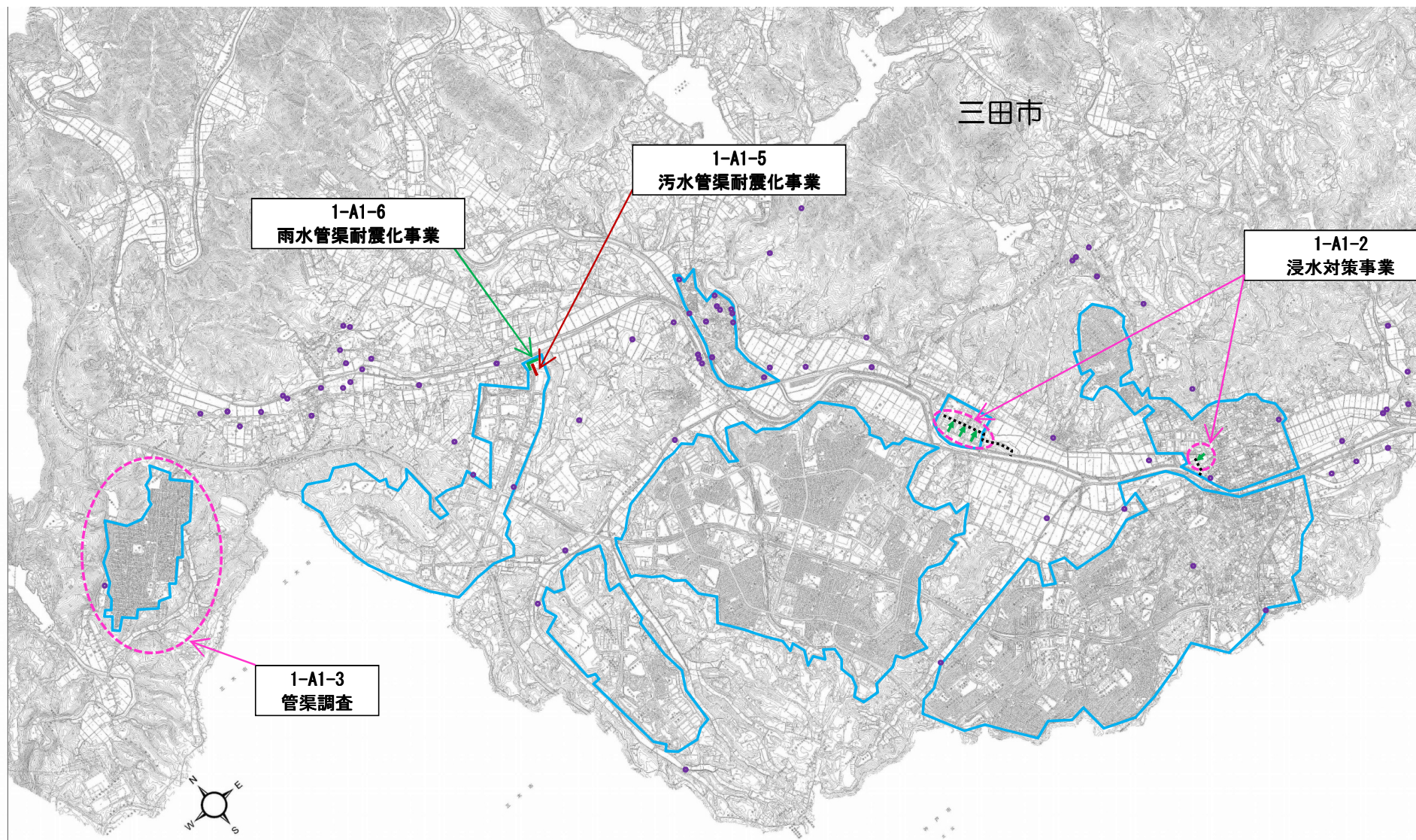
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・下水道整備による都市浸水対策を行った箇所において、浸水抑制が図られた。 ・管渠等の長寿命化計画策定に着手し、維持管理において、事後対応から事前対応への移行が図られつつある。 ・重要な管渠の耐震化対策実施箇所において、地震時の事業継続性及び災害時重要路線の通行確保が図られ、安全度向上が見込まれる。 ・都市部における雨水貯留タンク設置戸数が増加したことにより、雨水流出抑制が図られた。 																	
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道による都市浸水対策達成率）	最終目標値	76.6%	目標値と実績値に差が出た要因	民間開発事業においても、雨水整備が進められたため。														
		最終実績値	79.5%																
	指標②（管渠における長寿命化計画策定率）	最終目標値	50.0%	目標値と実績値に差が出た要因		目標どおり事業実施がなされ、目標値を達成した。													
		最終実績値	50.0%																
	指標③（重要な管渠の耐震化対策実施率）	最終目標値	15.0%	目標値と実績値に差が出た要因			概ね目標どおり事業実施がなされ、目標値を達成した。												
		最終実績値	14.9%																
	指標④（都市部における雨水貯留タンク設置戸数率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因				補助申請の促進を図るために行った事業広報のPR不足が要因と考えられる。											
		最終実績値	87.5%																
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)																			
3. 特記事項（今後の方針等）																			
次期整備計画においても、事業継続を行い、管渠における長寿命化計画策定率、重要な管渠の耐震化対策実施率、都市部における雨水貯留タンク設置戸数率の向上を図る。																			

(参考様式3)

(参考図面) 活力創出基盤整備

計画の名称	2 次世代に引き継ぐ三田の下水道に向けて (防災・安全)	交付対象	三田市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		



※ ● はマンホールポンプ等電気設備長寿命化計画策定事業の対象箇所(1-A1-3・1-C1-1)
■ は雨水貯留タンク設置補助事業の対象範囲(1-A1-7)